

# *Multifunction Analyzer*

## チュートリアル (JTAG編)

## 目次

- 01. はじめに
- 02. 機材
- 03. 起動
- 04. 接続
- 05. 設定ダイアログ起動
- 06. JTAGチェック



## 01.はじめに

本書は、マルチファンクションアナライザ（以下MFA）JTAGチェッカ機能（以下JTAG）の操作方法について一連の流れを説明します。

名称など、分からない箇所がありましたら、MFAについてはハードウェアユーザズマニュアル、MFAアプリケーションについてはヘルプを参照ください。



### Functions

Oscilloscope

Logic analyzer

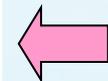
Pattern generator

Function generator

Digital multi meter

Simple DC supply

JTAG checker



## 02. 機材

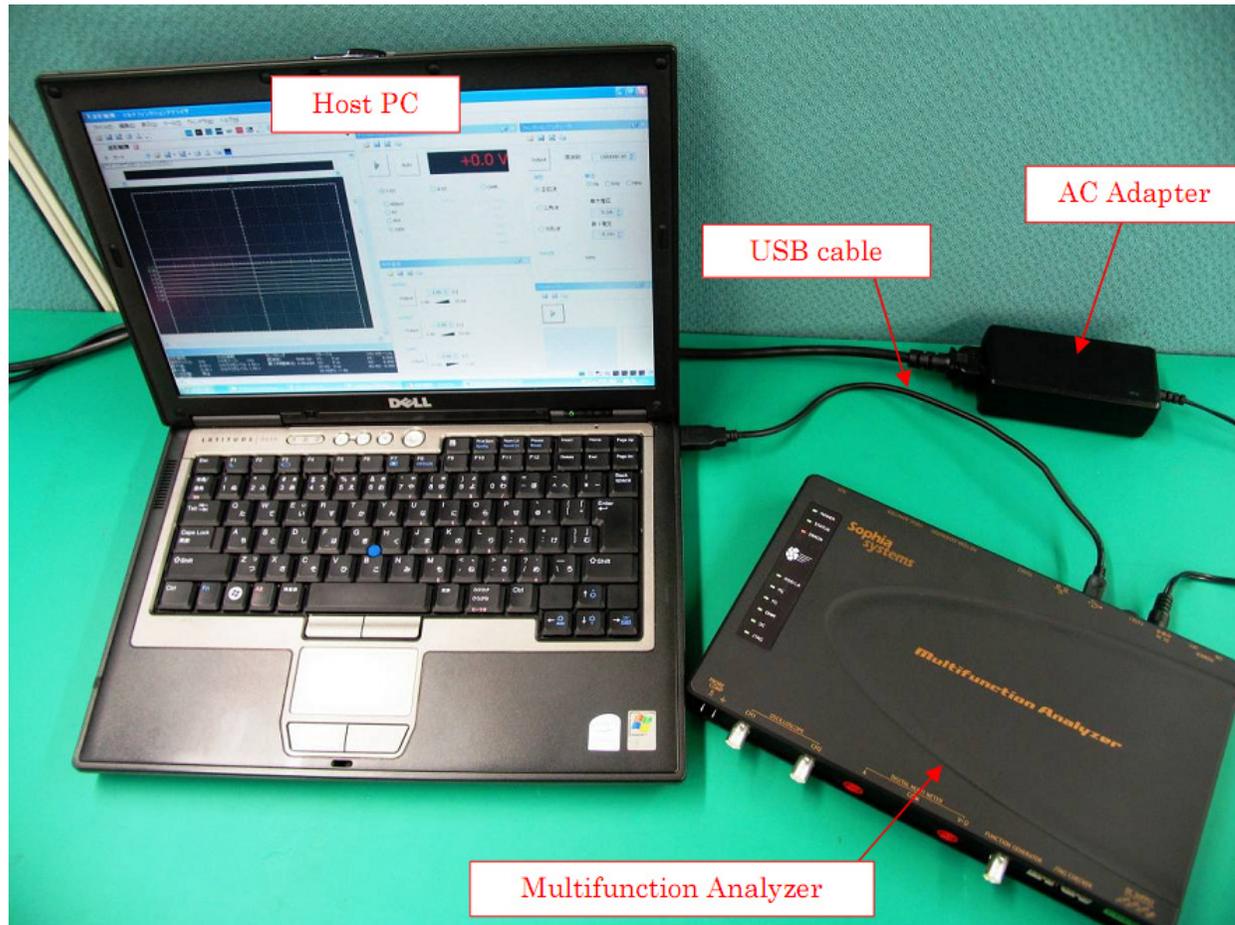
以下の機材を準備してください。

- ・ MFA × 1台
- ・ USBケーブル × 1本（別売り mini B タイプ）
- ・ ACアダプタ（ACケーブル含む） × 1個
- ・ JTAGケーブル × 1本
- ・ ターゲットボード（JTAG機能を有するもの） × 1台
- ・ PC（MFAアプリケーション インストール済） × 1台

※ アプリケーションのインストールについてはインストールマニュアルを参照下さい。

## 03.起動

ホストPCとMFA機材を接続し、MFAとMFAアプリケーションを起動した状態まで準備してください。



※ MFA機材の接続、MFAの起動については、ハードウェアユーザズマニュアルを参照ください。

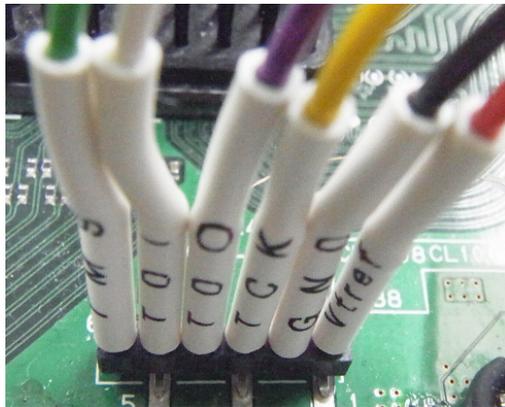
※ MFAアプリケーションの起動については、ヘルプを参照ください。

## 04.接続

1. JTAGコネクタにJTAGケーブルを接続してください。



2. ターゲットボードのJTAGコネクタにJTAGケーブルを接続してください。



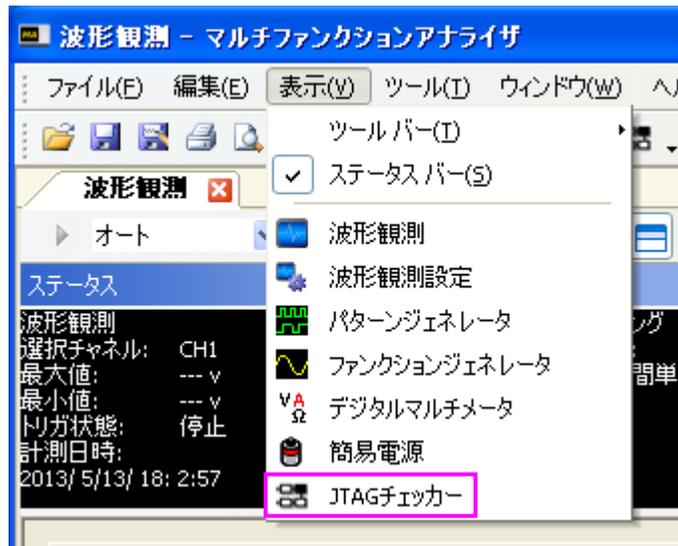
3. ターゲットボードの電源を投入してください。



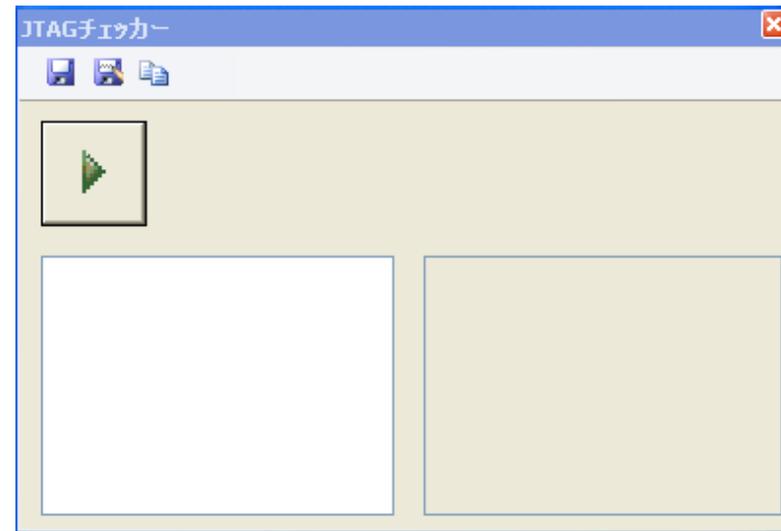
## 05. 設定ダイアログ起動

MFAアプリケーション上からJTAG設定のダイアログを起動してください。

JTAGチェッカを選択



JTAG 設定 ダイアログ起動

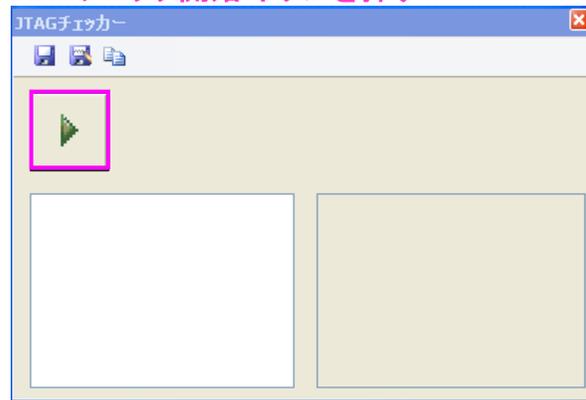


## 06.JTAGチェック

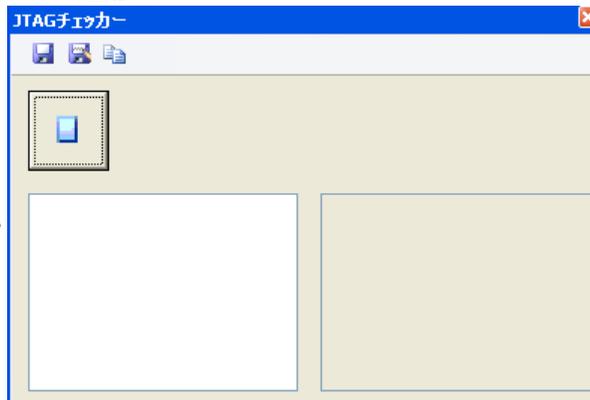
最後に、JTAGチェックを行い、ターゲットボード上のデバイスを確認します。

1. JTAGチェック開始ボタンを押してください。
2. JTAG通信中となり、自動的にチェックが完了します。
3. チェック完了後、デバイス名が表示されます。

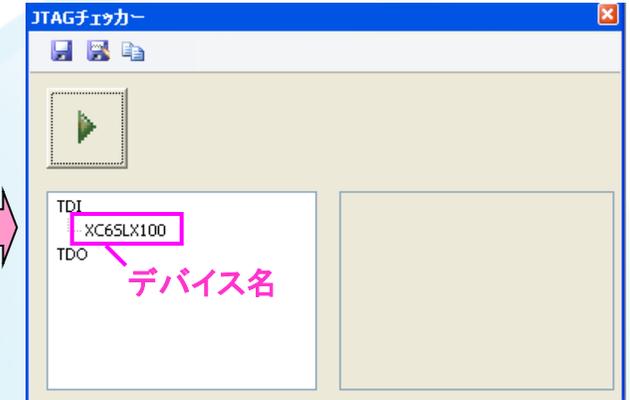
JTAGチェック開始 ボタンを押す



JTAG通信中



JTAGチェック完了



※ 不明なデバイスの場合 Unknown(ID) と表示されます。

以上で、JTAGチェッカ機能のチュートリアルは終了です。